

授業の根拠を語るはじめの一步

～自立活動とキャリア教育の視点からの目標設定～

北海道真駒内養護学校

授業開発部：安達雅美、齊藤昌宏

研究部：小倉靖範

研究背景①

教育課程に関わる課題

- 学部間の教育課程の接続（連続性と独自性）
- 授業と教育課程改善のつながりの希薄さ

学校経営上の課題

- 協働する組織の基盤をつくる（チーム真駒内）

社会的背景

- 社会変化への対応
- 新学習指導要領

課題の解決に向けて…

全職員が、授業や指導の根拠を説明できる。



担任の負担感

- 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成
- 評価
- Team Teaching
- 自立活動の指導の手ごたえの少なさ
- 保護者対応
- 過重を増す負担に重なり、授業づくりにかける時間は十分ではない
- ...

本校初、授業開発部

- 今年度より、**担任業務の軽減**及びProチーム真駒内のテーマのもと個々の**資質の向上を図る目的**で、授業開発部が新創設。

- メンバー構成

小学部	3名	・初任者層 : 3名
中学部	3名	・～10年 : 1名
高等部	3名	・～20年 : 4名
		・20年以降 : 1名

- 現在は、担任が作成した課題関連図をもとに協働した授業づくりのモデルを校内に提案するため、奮闘中。

研究背景②

【H28年度の研究】

「課題関連図」の作成から
見えてきたこと

実態把握から分析的視点へ

「課題関連図」作成の手続き

STEP 1 事例対象児の選定（学年ブロック・学部ごとに）

履修する教育課程等を基に特徴的な児童生徒を抽出

STEP 2 「課題関連図」作成のプロセスを通した共通理解

学部によって
観点が異なる？



担任を中心に
カテゴリー化

中心となる課題
つまずきの背景



・付箋の整理
(課題をまとめる)



かかわる人から
の事前情報収集

気づき・協働性・共通理解

関連を複数の
教師で検討

「実態整理図」ができました...

○ 可視化

○ 共有化

[付箋紙の内容]

- ・ 課題
- ・ 将来にめざす姿
- ・ 身に付けさせたい力 ...

▲ 付箋紙同士の
関連付けが困難...。
なぜ？

